

韓国・済州島レポート

カンジョン村に 平和を



(左から筆者・アンジー・ゼルターさん・藤岡惇さん)

黒木 鞠子

(ネットワークコスモポリタン)

2005年1月27日
大統領 盧武鉉

世界平和の島宣言

大韓民国政府は済州道三無(泥棒と乞食と家の門がない)精神の伝統を創造的に受け継いで、済州4・3の悲劇を和解と相生で昇華させて、平和定着のための頂上外交の精神を受け継いで世界平和に寄与するように、済州国際自由都市特別法12条の規定によって済州道を、「世界平和の島」に指定する。

(中略)

大韓民国政府は「済州世界平和の島」指定を契機にして、世界平和増進の先頭に立つ事を内外に宣言する。

はじめに

昨夏、「アミカス」(福岡市)での「宇宙への兵器と原子力配備に反対するグローバルネットワーク」主催のお話会で、アメリカ大学で考古学の准教授のディヴィット・ヴァイン氏(David Vine)が「済州島にあるカンジョン村に中国を脅威としてアメリカの基地が建設されようとしており、それに対する多くの村人が基地の前に座り込み、次々に投獄されている」とリポートされました。それと、サンヒーチェさん(Sung-Hee Choi)の牢獄からの海軍基地撤去の強いメッセージも心打つものがありました。いつか私も支援に訪ねたいと思ったものです。

今年2月24日から26日迄、グローバルネットワーク(ブ



ルース・ギャグノン氏 Bruce Gagnon 米国・代表) がカンジョン村で「済州島国際平和会議」を開催することを知りました。勇気を出してこの会に参加してカンジョン村の海軍基地建設の不条理さが次第に分かるようになりました。

日本から6名(立命館大学の藤岡惇教授、沖縄から普天間騒音訴訟の事務局長の高橋年男さん達)、世界13カ国から(米国、英国、ニュージーランド、カナダ、スウェーデン、インド、その他)約30名の人々が集まりました。ありがたいことに、宿舎と食事は無料で提供して頂きました。

国際平和会議(右写真)では、韓国・米国・英国そして日本人の方々が「4・3からカンジョン迄済州の平和の精神を語る」「済州を世界平和の島に」「東アジアにおける米国の軍事戦略とハワイ・グアムの米国の基地」「東アジアの真の平和を創る沖縄・済州島の連帯を目指して」等々の講演があり、各々韓国の若い人々が英語から韓国語、韓国語から英語へと流暢な通訳に助かりそして感心いたしました。



ここでは、韓国・外国の活動家の素晴らしい講演を聴いたり、一緒に村の中を平和行進をしながらお話ができてよい機会をもてました。

5年前の2007年にカンジョン村に韓国海軍の軍港・基地の建設が決定され、2010年9月に基地建設が着工され、48万平方メートルの広大な土地に2隻の潜水艦、6隻の大型駆逐艦、2隻の空母の停泊が可能な、韓国でも最大規模の軍港が建設されるだけでなく、米韓両軍のイージス艦が配備され、「敵」ミサイルを破壊する「ミサイル攻撃」の前線基地となる危険があります。更に大きな問題は国防부가チラシに「民軍複合型観光美港」としており、「15万トン・クルーズ船が入港する美港」と宣伝しているのは国民への詐欺だと言われています。

4・3抗争について

平和会議が始まる前に、私達はバスで平和公園に案内されました。

ここは済州で行われた「4・3抗争」という暗く思い過去を知らせる為に2008年に建造されたもので、平和記念館(右写真)・慰霊祭壇・慰霊塔・野外彫刻が22万㎡余の広大な敷地に広がっています。ここで初めてこの事件のことを知りました。



日本が敗戦前まで軍事基地として済州島を使用していた遺跡が1000ヶ所近くあるとのこ

と。その後米軍支配下の南朝鮮では、1948年5月に総選挙が実施され、8月には李承晩（イ・スーマン）を大統領とする大韓民国が建国されました。その選挙直前の4月3日に済州島で、朝鮮半島南部の単独政府樹立に反対し、南北統一を願った島民が民衆抗争にたちあがりました。参加者は300名足らずでしたが、米軍・韓国軍・警察・右翼などが鎮圧を行い（右写真）、島民27万～30万のうち3万人が虐殺されたと推定され、これは国家権力による反倫理的なものでした。そしてこの抗争は長い間、闇の中に閉ざされていました。



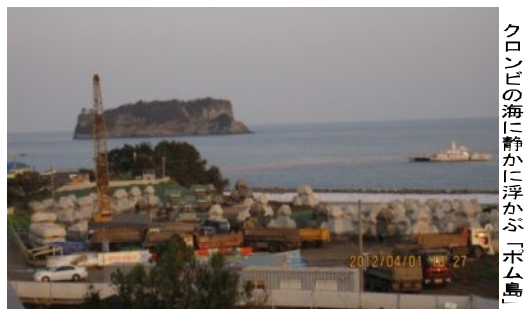
そして「4・3抗争」は長らく、北朝鮮の陰謀とされてきましたが、2000年に真相究明が始まり、2003年にはノ・ムヒョン大統領が公式に謝罪しました。こうした背景があり、ノ・ムヒョン大統領が提案されて済州島が「世界平和の島」として、平和や人権の発信地になりました。平和記念館にはノ・ムヒョン大統領の上記の「詞書き」（本稿の冒頭参照）が飾られています。

済州4・3抗争では、国民の生命を守るべき軍隊と警察が、国民の権利を守るべき法を無視して、罪のない自国民を大量に殺害しました。独裁政権が倒され、文民政権が誕生した韓国・済州島で、4・3抗争の真相を明らかにして、平和と人権を守り発展させる運動が大きなうねりとなっています。

どうしてカンジョン村に基地が

済州道西帰浦市江汀村とは水が少ない済州島で、珍しく水が豊富だという意味で「江」と「汀」の漢字をつけた村。

ユネスコがカンジョンの海岸が生物の多様性が豊富なので、「生物圏保存地域」に指定し、それによって「絶対保存地域」「生態系保存地域」「文化財保存地域」に指定された村。この海岸は「クロンビ岩」と呼ばれる、大小の石の塊があちこちに散らばっているように見えるが、実は長さ1.2キロ、150mにおよぶひとかたまりの巨大な溶岩であり、村人達が愛してやまない場所でもあります。この広々とした海上に浮か「ポム島」は夢のような島であり、このまわりには軟サンゴの群落があり、そしてイルカが遊びに来る場所でもあります。



2007年4月に道知事が海軍基地建設のロードマップを発表しました。

その頃、人口が1900人のカンジョン村で海女40人など87人が参加した臨時村総会が急襲的

に開かれ海軍基地誘致を決定してしまいました。その背景に、当時のカンジョン村会長と漁村係長、道知事の3人で事前調整があったという信憑性のある疑惑があります。

海軍は以前の海軍基地の候補地だった和順と為美で、一番強力な反対勢力が海女だった事を経験したので、カンジョン村では最初に海女達に接近して工作をしました。誘致申請をしてわずか数日後に行わ



発表された基地建設予定図

れた道民世論調査で、この間全く話し合いがなかったカンジョン村を、突然海軍基地建設地に決定し、その後カンジョン村の草の根民主主義が誤った決定を正す為の手続きが始まりました。8月10日、村の臨時総会に住民436名が参加し、有効投票の95.4%にあたる416名が海軍基地誘致決議を主導した村会長のユン氏を解任し、**姜東均氏を新会長**に選びました。

8月20日、海軍基地誘致の賛成、反対投票に住民725名が参加し、有効投票の94%にあたる680名が誘致に反対しました。以後、村総会が、「海軍基地決死反対」を堅持して戦いを継続しています。

カンジョンでは、沖縄県の辺野古と同様の、村ぐるみの非暴力の闘いが、韓国内や国際団体の支援のもとで組織されています。この運動に村人だけでなく、韓国内の活動家達や宗教家、大学教授達と支援が広がっています。この間、非暴力の座り込みやハンガーストライキなどの行動に、警察は多くの人々を逮捕しています。特に組織のリーダーを狙い撃ちして、組織の分断を狙っているようです。**2010年からこの4月までに450名ぐらいが連行、逮捕、或いは監禁されています。**

2月の末の国際会議の時は、姜村長も事あるごとにスピーチをなさったり、キャンドル・ヴィジルでは村人や私達と踊ったりととても元気に活動の様子でした。姜村長は仕事で大阪に10年程暮らされたことがあり、日本語の習得にはとても苦労されたとお話しをされました。今は日本語はとても流暢です。

グローバル・ネットワーク主動で集まった私達は、2泊3日の滞在の間、この軍事基地反対の表明をいかにすれば効果的なのか夜遅く迄作戦会議をしたものでした。

25日（日曜日）、希望者のみ壁の下を掘って基地内に入る作戦をしようとしたのですが、ダメでした。結局、岸辺から一人ずつカヤックに乗って、クロンビの岩に上がりそこから基地に潜入することになりました。16：00ぐらいに9名が潜入に成功。もちろんすぐ警察に捕まり、最寄りの警察署に2手に分けられて、連行。警察署の外で私達応援団は待つこと6時間余。そこでは皆で食事や歌ったり踊ったり。韓国の方の強靭さと明るさと唄と踊りの卓越には脱帽です。ようやく23：30過ぎに全員釈放。この日韓国警察の力による圧力を感じました。ブルース・ギャグノン氏が「韓国は警察国家である」とおっしゃっていましたが、ま



クロンビの岩場で

さにそのとおりのようです。

26日（月）午前11：00のチェジュ市での記者会見に参加しました。とにかくニュースになって、このカンジョン村の非暴力で平和を真に願う人々の基地闘争を知ってほしいと望むばかりでした。その後基地推進派のウ・グンミン済州道知事にメッセージを渡すのに、一騒動が起きました。

村の人々は私達外国人が来てくれて、韓国の国家権力に対してゆさぶりをかけてくれることに感謝をするとの言葉をいただきました。私はこの日の午後帰福しましたが、このあとから、警察との抗争が次々とあつたようです。3月7日には、クロンビ岩の一部爆破が強行されました。村人や活動家の方々が現地に集まり、抗議の声明がだされ緊張の一時でした。ベンジャミン・モネ氏（Benjamin Monnet 仏）は長らくこの地に泊まりこんで村の人々と一緒に基地撤去の運動をユーモアを交えながら行動。 アンジー・ゼルターさん（Angie Zelter 英国）は、今年のノーベル平和賞にノミネートされている方ですが、1ヶ月この地に滞在の予定でした。このクロンビーの爆破に対して、お2人は体を張っての抗議に韓国政府は国外強制退去を言い渡しました。



再びカンジョン村へ

4月1日から4日迄、大分の知人とネット上で呼びかけた義援金と福岡のPネット等からの「軍事基地反対のメッセージ」を持って、再びカンジョン村へ。姜村会長と活動家のお一人に無事にお預かりしましたお金をお渡し出来ました。このような活動は多額のお金があることがわかりません。



今回はあちこちに網の目のように警官が立っているのに驚きました。監視カメラもあちこちにあるから注意してとの韓国の知人からの助言でした。前回から約1ヶ月後なのに、監視が強化されているのが、ひしひしとわかります。私達が到着したその日は9名の人々が逮捕されたことを聞きました。3月31日には済州空港で平和フォーラムの Y さんが、4月には沖縄からの3人が「昨年、済州島カンジョン村を訪問したという理由」だけで、日本人の母娘の入国拒否。4月2日には「グリーンピース東アジア」のマリオ・タマト事務総長等・・・米国の平和の為の退役軍人会の3人も。政府は海外の人々に無差別の入国拒否・強制送還を続けています。韓国政府がこの海軍基地を内外に知らせたくない意図がよくわかります。

基地建設の問題点

① 基地建設予定地はユネスコの生物圏保全地域に指定されており、基地建設はこうした

貴重な自然を破壊してしまうこと。

② 立地選定過程が非民主的であったこと。前述のように海軍誘致を決めたのは、わずか87名の住人で、その後に住民投票では、大多数が基地建設に反対しました。いま韓国政府は住民合意のないままに、基地建設を進めようとしています。

③ 過去の歴史的な「4・3抗争」に起因して、2005年にノムヒョン大統領が済州島を「世界平和の島」に指定しました。この平和の島と軍事基地の理念はけっして相容れることはできません。

④ もしカンジョン村の軍事基地が建設されると、もちろん米国がここを沖縄のように発信地として使用すれば、東アジアの緊張が高まり、特に中国や北朝鮮との関係が悪化すると懸念されます。日本も軍備拡張に容易に同意していくと思われます。

世界からの声

このカンジョンの基地問題は単に韓国の済州島のカンジョン村の問題ではなく、日本そして世界の平和に関する大きなグローバルな問題でもあることがわかります。

5月6日～12日迄、アンジー・ゼルターさんの世界連帯の呼びかけに呼応して、英、仏、独、日本でも韓国大使館、領事館へのデモが開催されました。ここ福岡でも5月6日に10人（子供1人を含む）が領事館の前で‘済州島に平和を’‘サムソン No!’ ‘基地 No!’ 等のバナーを持っての抗議をしました。



その後、福岡の実行委員会名で、東京・大阪・福岡の大韓民国の大使・総領事の各々に要請書—済州島江汀村での海軍基地建設の中止を強く願います—と賛同団体と個人名を付け加えて、送付いたしました。

アメリカも何ヶ所かで抗議デモが行われ、イギリスのロンドンでは60人もの人が集まり、詩を読んだり、歌ったりと、平和的なアピールが催されました。英国の韓国大使館に働く一等書記官とアンジーさんが面接した会話の内容ですが、「彼はこのカンジョン村の基地建設に対して何も知らないとのこと。自分の職務は本国政府からの司令を全うすることであること。日々の職務に多忙とのこと。」でした。

世界でのこうした平和的なグローバルな連帯の動きはとても良い取り組みだと思います。こうした世界の人々の注目にも関わらず、多くの逮捕者を出しながら、日々工事は進んでいます。

MITのチョムスキー名誉教授が昨9月とこの5月に再び声明を発表されました。「海軍基地の建設は韓国社会全般にわたって否定的な影響をもたらすものであり、中国を牽制し、太平洋地域を制御しようとする米国の意図が伺えるこの基地の建設は国際社会の圧力を真剣

